

令和 6 年第 5 回 鋸南町議会定例会議事日程〔総括表〕

令和 6 年 6 月定例会

日程第 1	会議録署名議員の指名	
日程第 2	会期の決定	
日程第 3	諸般の報告	
日程第 4	一般質問〔9名〕	
	①	秋 山 柳 三 議員
	②	中 村 基 議員
	③	篠 宮 真 樹 議員
	④	東 愛 乃 議員
	⑤	竹 田 和 明 議員
	⑥	鈴 木 辰 也 議員
	⑦	緒 方 猛 議員
	⑧	早 川 正 也 議員
	⑨	笹 生 あすか 議員
日程第 5	発議案第 1 号	国における 2 0 2 5 年度教育予算拡充に関する意見書 (案) について
日程第 6	発議案第 2 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(案) について
日程第 7	発議案第 3 号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を求める意見書 (案) について
日程第 8	議案第 1 号	工事請負契約の締結について(鋸南中学校トイレ改修工事)
日程第 9	議案第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程第 1 0	議案第 3 号	令和 6 年度鋸南町一般会計補正予算(第 1 号) について
日程第 1 1	議案第 4 号	令和 6 年度鋸南町国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号) について
日程第 1 2	報告第 1 号	令和 5 年度鋸南町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について
日程第 1 3	報告第 2 号	令和 5 年度鋸南町水道事業会計予算繰越計算書について

令和 6 年 第 5 回 鋸 南 町 議 会 定 例 会 会 期 日 程 表 （ 案 ）

自 6 月 1 1 日（火） 至 6 月 1 4 日（金）

会 期	月 日	曜 日	時 間	説 明
第 1 日	6 月 1 1 日	火	午前10時	開 会 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、一般質問（4名） 散 会
第 2 日	6 月 1 2 日	水	午前10時	開 議 一般質問（5名） 散 会
第 3 日	6 月 1 3 日	木		休会（議案調査のため）
第 4 日	6 月 1 4 日	金	午前10時	開 議 発議案第1号から議案第4号の上程、説明、質疑、討論、採決 報告第1号及び報告第2号の説明 閉 会

一 般 質 問 一 覧 表

令和6年第5回鋸南町議会定例会

通告順	質 問 要 旨	質 問 者	答 弁 者
1	1. 認知症の人に対する対策と対応について問う 国は、急速な高齢化に伴い、認知症の人が増加していることから、尊厳と希望を持って暮らすことができるよう、共生社会の実現を図るため、いわゆる認知症基本法が本年の1月1日から施行されました。 日本の人口が1億2,000万人に対して高齢者が3,500万人で、3.5人に1人が高齢者というわけです。 鋸南町ではどうでしょうか。令和6年5月現在で人口6,802人に対して高齢者数3,395人、実に約50%が高齢者で県内2位という高い比率で、この傾向はしばらく続くと考えられます。 このような中、当町の認知症の人の数は、軽度から重度までで450人という数字が出ていますが、その対策についてお聞きします。 ① 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について、どのように解しているか。 ② 当該基本法の中で、市町村は認知症施策推進計画の策定が努力義務とされているが、どのような対応を考えているか。 ③ 計画を策定する場合、地域福祉計画や介護保険事業計画等と調和を図ることとされているが、現在の町の医療、介護サービスで対応は可能か。 ④ 認知症の診断は誰が行うか。その基準はあるか。また、隠れ認知症の人も多数いるとのことだが、実態は把握しているか。 ⑤ 町民の半数が高齢者であるという現実をみて、認知症サポーターキャラバンという組織が不可欠であると思う。その存在を多くの方に知ってもらいたいが、町の考えはどうか。	秋 山 柳 三	町 長

2	1. 鋸南町公共交通10月以降の体系を決定するにあたり、住民の参画を。 鋸南町では、過疎化・高齢化が他地域にも増して急速に進む中、高齢者の移動手段を将来に渡り確保する為、循環バスからオンデマンド交通の実証運行を、昨年10月から半年間、更にプラス半年間延長し、その結果を検証の上、10月以降の交通体系をスタートする予定でした。 しかし、利用者がデマンド1日4人、循環バス19人と、4分の1にも満たない現状と要因を、町民が共有化することなく、10月以降も、実験中の交通体系の暫定的な継続を行政のみで決定することは、住民不在であり、持続性に疑問が残るばかりか、結論の先送りとなります。 今一度、町民が求める移動需要に立ち戻り、最適解の交通体系を、町民主体でしっかりとつくり上げていくことが必要と考えます。 そこで、今後の進め方について質問します。 ① 今後数年間の交通体系については、3月に提案した「地域の方々と行政・交通業者・議員を交えた公共交通会議の開催により方向性を決める」について、どのように考えますか？ ② 10年後を見据えた公共交通体系を、町民を加えた「公共交通会議にて定期的・継続審議・実験していく仕組みを作る」事について、どのように考えますか？ 2. 「経済効果を捉える」事についての結果 第2期総合戦略に、「将来に渡り活力ある地域社会の実現」の為の基本目標「鋸南町への新たな人流づくり」を掲げています。 消滅可能性自治体と言われる中、起死回生の活路と無限の将来性を求め、「道の駅保田小と附属施設」が完成し、結果、集客80万人、TV・雑誌・SNSでも取上げられ一定の効果を上げております。	中 村 基	町 長
---	---	-------	-----

	しかしながら、経営評価としての指標が無く、売上や雇用の創出、及び集客に伴う観光賑わいの波及効果が、地域経済の活性化にどれだけ寄与したか、結果、町及び住民にどれだけのメリットをもたらせたのか、数値的に判らず客観性に欠けておりました。 これでは今後の「社会資本投資」（橋・道路・建物設備等の新築や修理、イベント）結果を正しく評価し、次に活かすことができません。 明日の鋸南町を創り上げる為に、これからも新たな施策を次々と打っていかねばなりません。 そこで、道の駅保田小の「経済効果」を捉え、その仕組みを使い、「今後の投資への評価」に活かすべき、と昨年9月に提案し、「行政として取組む」旨の回答を頂きました。 その後の結果について質問致します。		
3	1. 観光によるメリットとデメリットについて 鋸南町には魅力のある沢山の場所があり、その魅力を活かした観光は重要な産業の一つだと考えます。 その魅力を活かして観光客を呼び、鋸南町に来て頂いて町の良さを知ってもらい、関係人口の増加、そこからの移住定住者を増やすことや観光を一つの産業として雇用の促進や町の経済の活性化など観光を中心とした様々なメリットが沢山あると考えますが、しかしながら沢山の観光客が訪れることによりオーバーツーリズムにより様々なデメリットも考えられます。 そこで5点質問します。 ① 鋸南町には年間どれ位の観光客が訪れて、観光客が訪れたことによる経済効果はどれ位あるのか。 ② 鋸南町には元名石切り場跡などの未整備の観光資源がまだまだ沢山あると思うのだが、新た	篠宮 真樹	町 長

	に観光資源の発掘をする考えはあるのか。 ③ 春の水仙や桜のシーズン、大型連休などの時に交通渋滞が起こりますが、特に保田交差点は変則的で観光客には解りづらく、右折車両も多く渋滞する箇所だと思うのだが、町としての認識はどうか。また改良するような計画はあるのか。 ④ 佐久間ダムの花見のシーズンに駐車場が全然足りない状況だったと思うのだが、佐久間ダムを始め町内の駐車場を増やす考えはあるのか。 ⑤ 交通渋滞から渋滞回避のために狭い道へ進入するなどの交通トラブル、ゴミのポイ捨てなど、どのように防いだら良いか、具体的な防止策はあるのか。		
4	1. 空き家対策の取組について 当町は、千葉県内54自治体の中でも高齢化率が49.6パーセントと県内で2番目に高く、昨年の出生数も8名と少なく、人口減少対策について一般質問でも毎回取り上げられております。 また、空き家率は未発表ですが、県南の空き家率は特に高く、25パーセント以上の市が連続しています。 近年、当町における子育て支援や住宅取得、移住に関する支援もとても充実し、他の市町村よりも手厚いと思えるほどです。近隣の市で子育てしている方々からも、大変うらやましく思われ、私自身も「鋸南町へ移住して来たらどう？」など、日常的に話題になっています。ですが、決まって「住む場所がないよね」「探しているけど空き家バンクの物件数も少なく、手頃な物件がない」と、子育て世帯の移住希望者や2拠点居住希望者からも度々言われます。 そこで、以下の点について質問します。 ① 空き家率は何パーセントか。 ② 空き家バンクの現時点での売買及び賃貸物件	東 愛 乃	町 長

	数、累計登録件数、成約件数は何件か。 ③ 空き家利用希望者の登録者数は何名か。 ④ 登録物件数が一けた台と伸びないが、今後の取組及び対策はいかがか。 2. 高校生の機会均等と支援について 当町には高校がなく、近隣市にある高校へ通わねばなりません。中学生までの支援は手厚いですが、高校生からの支援が今一つたりないように思います。 この4月から、東京都では高校の学費が無償化され、尚且つ選択肢の多い都内へ引越しを検討する方も増えているようです。保護者の仕事の都合もありますが、この先の子どもの将来を考えて、新学期は進級のタイミングで、都内へ行かないまでも、より選択肢の多い、木更津市や君津市などへ転出してしまう子育て世帯もいます。 そこで1点質問します。 ① 定住の維持と教育の機会均等のため、就学期の子どもを抱える世帯の経済的負担の軽減を図るためと、遠方の高校へ通学している町内に居住する高校生等の保護者（通学費負担者）に対し、通学定期代の一部を助成してはどうか。		町 長
5	1. 道の駅保田小の業務実績について 2015年12月開業の道の駅保田小は、2023年10月に附属幼稚園が開業している。 今般「業務報告」ということで、業績が示された。その内容について以下2点の質問を行う。 1) 保田小（①直売所、②入浴、③宿泊、④食堂、⑤その他）および附属幼稚園における収支状況についてどのような分析を行い、今後の経営上の課題は何だと認識しているか。 2) 高速バスの受入が遅れているが、交渉の経緯および今後の見通しはどうか。	竹田 和 明	町 長

	２．町内および周辺地域における交通、道路について 鋸南町総合計画（２０２１年～）の作成にあたり行われた住民アンケートで、町づくりにおいて最も優先度が高いとされたのが「交通基盤の充実」だ。 現在、オンデマンド交通の実証運行を行うなど、積極的な取り組みも行われているものの、交通の不便さから町での生活をあきらめ、町外に出ていく人もいる。 そこで以下３点質問する。 ① オンデマンド交通の実証運行で明らかになったことは何か。 ② ライドシェアやその他新しい交通技術の検討、情報収集は行っているか。 ③ 町道および駐車場の整備にむけた取り組みは。		町 長
6	１．防災対策について 防災対策は、風水害時と地震時と災害によって対策が大きく異なります。また、それぞれの地区においても対策が異なります。 今現在、自主防災組織が１４地区でたちあげられています。自主防災組織の活動もそれぞれの地区によって変わると考えられます。それぞれの自主防災会での取り組みの報告、町を交えて意見交換をするための場を設けたらどうかと提言してきました。 平成３１年３月議会で、町と自主防災組織との連絡協議会的なものを検討していくとのことでしたが、その後どのように検討したのか伺います。 また、避難所運営の町の基本的な考え方、避難行動要支援者名簿の作成状況はどのようになっているのか伺います。	鈴木辰也	町 長

	2. 地域公共交通について 令和5年2月の全員協議会で、地域内の新たな移動手段の確保のため、AIシステムを活用したオンデマンド交通実証運行を実施し、地域の最適な公共交通手段導入の参考にしていきたいとの説明があり、公共交通実証運行事業を今現在実証中です。 町は、本年9月に実証運行が終了したのち、その結果の評価をし、今後の地域公共交通のあり方を検討するとしていました。 今現在で、9月以降については、循環バス、オンデマンド交通の制度を併用して行っていくと説明がありました。 実証運行の延長をする際の説明では、6か月では期間が短いので、1年間の実証運行をおこなった後に検討するとの説明でしたが、今現在で決定した根拠を伺います。		町 長
7	1. 介護施設と介護士不足の対応について 5月1日現在の高齢化率50%で、そのうち単身世帯は965人で町全体の世帯数の28.4%。10年前は高齢化率40%、単身世帯は840人で、町全体の22.0%であり、大幅に増加している。 現在の当町の人口のピークは5歳刻みで75～79歳である。したがって、高齢者の単身世帯の多さは当分続くと思われる。 そのような中、ある事業所では、看護職員不足（退職4人）で10年続いたデイサービスを5月末で中止した。入所待ちの人も多い。 別の事業所では、看護職員の採用ができないと訴えている。 介護の問題は、過去何回も質問と少しの対応改善の提案をしてきた。とりわけ老々介護となると自宅ではその大変さは想像もつかない。 これら質問に対する町長の答弁の概略は、「介護	緒 方 猛	町 長

	施設の要求は大きいと思うが、現在町の計画はない。業者からの要望もない。保険料等の動向を勘案し、次期計画の検討をする。基本的には町の果たす役割は、介護予防の推進で、施設介護から在宅介護への支援の考えだ。鋸南町に住んで良かったと言われる努力をしなければならない。」ということでした。 そこで4点質問します。 ① 町内外の介護施設で合計何人の方が介護を受けているのか。 ② 町内介護施設で働く人の採用に一層の協力をすべきと思うが。 ③ 町長の過去の答弁の施設介護から在宅介護への努力は好ましいと思う。総合基本計画にもあるが、その結果は。 ④ 介護施設の増強は、鋸南病院を含めて全く考えられないのか。 2. 安否確認のシステム（SOS発信）普及に一層の努力を。 以前から要求しているが、一時加入者が50人ほどになったが、昨年4月には20人ほどとなった。高齢者の、特に単身者などにおいては大きな安心を享受できる装置だ。一層の普及に協力できないか。 そこで2点質問します。 ① 良さを知らせる事例情報等の発信に一層の努力をしていただきたい。 ② 3千数百円の月々会費の半額負担になるまで支援できないか。		町 長
8	1. 観光振興と移住促進、地域の連携について 鋸南町は、都市交流施設・道の駅保田小学校を中心に、町内での観光を基にして関係人口の増加、それからの移住促進を政策として現在も進めています、他にも、鋸山の日本遺産登録を目指すこと	早 川 正 也	町 長

	や、佐久間ダムでの花祭りやジビエイベント、現在は休止していますがシロギス沖釣り大会等、他市町村ではない多種多様なイベントを実施しています。 各種イベントなどは、協力団体やその事務局となる役場の連携と、地域住民の理解と協力が欠かせません、また、行政と住民をつなぐのが地域おこし協力隊だと思います、地域おこし協力隊は各隊員とも専門的な知識と向上心を持って任務にあたっていると思います、各種イベントにも積極的に係っていただき、公務中だけではなく、町民への協力や支援をしていただいています。 そのような状況の中5点の質問をします。 ① 都市交流施設をはじめ、来校者や来町者が増える中、関係人口の状況をどのように考えているか。 ② 移住希望者への対応と窓口について、現在の状況はどうか ③ 各種イベントを実施した結果、効果をどのように認識しているか ④ 地域おこし協力隊の活動状況と役場での支援、指導状況はどうか ⑤ 地域住民への活動の推進、支援をどのように考えているか		
9	1. 第9期介護保険事業計画について 第9期介護保険事業計画が策定され、今年度から3年間この事業計画に基づき、事業が行われていきます。 鋸南町で介護を必要とされている方の多くが、訪問介護や通所介護等の居宅での介護サービスを利用されています。また、住み慣れた自宅での最期を希望される方も多くおられると聞いています。 地域課題として、介護の問題について取り組んでいます、介護支援専門員や、訪問ヘルパーな	笹生あすか	町 長

	ど介護職員の人手不足は深刻です。 そこで、4点質問します。 ① 第9期介護保険事業計画の概要はどうか。 ② 地域課題としての介護分野について、町の認識はどうか。 ③ 介護支援専門員(ケアマネジャー)連絡協議会の再開が必要だと考えるが、どうか。 ④ 処遇改善加算等の対象外となっている介護支援専門員(ケアマネジャー)への町独自の支援が必要と考えるが、どうか。 2. 地域医療について 鋸南病院が新院長になり、1年が経ちました。また、昨年1月からは整形外科の医師による診療も始まり、患者さんが増えていると聞いています。 先日、公立病院経営強化プランの概要が提示されました。 そこで、5点質問します。 ① 公立病院経営強化プランの概要について、町の認識は。 ② 鋸南病院の現在の経営、雇用(職員配置)の状況はどうか。また、意見交換会の実施状況はどうか。 ③ 経営強化プランにある「在宅医療の推進」「訪問診療の充実」「リハビリテーションの増進」について、現状はどうか。 ④ 経営強化プランにある「当院の地域医療へのあり方について検討」とあるが、具体的にはどのように検討されているか。 ⑤ 訪問リハビリテーションの導入が必要と考えるが、どうか。		町 長
--	---	--	-----